

前期基本計画(案), 人口ビジョン・総合戦略(案)に係るパブリックコメントに対する回答

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
女性	<人口ビジョン>	2060年に約30,000人というのは、社人研推計(25,000人)を大幅に上回る数値であり、そう簡単に達成できる目標ではない、という認識を広く持つようにすべき。 今のままでは50年後に人口が半減する事態になるという危機意識の共有が大切。	企画課	*****	*****	※人口ビジョンの目標値については、合計特殊出生率の向上と同様、簡単な値ではないことは、強く認識しています。 市としては、厳しさを認識した上で、危機感を持って、今回の施策を実施していきたいと考えています。
女性	<総合戦略> 海	館山の第一の宝は海であり、総合戦略でも海の魅力UPがトップに掲げられているが、海の幸を活かした産業振興の扱いが軽いのではないか。 例えば、KPIに漁業就労者数や漁獲高等を入れられないか。 専門家(海洋大学等)の協力も得て、漁業振興策に力を入れるべき。	農水産課	反映できない	漁業経営支援事業	※漁業者になるために必要な漁業権及び漁獲高の管理については、漁協が管理しているものであり、市の事業の成果を図る指標としては適していないものと考えます。 市としては、漁協や各種水産業関連団体を支援・協力することで、漁業振興に努めていきたいと考えています。
女性	<総合戦略> 若者	「若者の元気UP」のKPIで普通出生率があるが、あまり使われていないので合計特殊出生率のほうが良いのではないか。	企画課	反映する	*****	※ご意見のとおり、合計特殊出生率のみとします。
女性	<総合戦略> ふるさと	「ふるさとの誇りUP」の公共交通の確保・維持について、既存路線の維持だけでは交通弱者問題の解決にもならない。 健康寿命伸長や観光面の対策の視点も盛り込んだ、使いやすい公共交通網の整備に踏み込むべき。	企画課	一部反映する	域内公共交通の確保・維持	<u>公共交通事業者と近隣市町との調整を図り、域内公共交通の手段・手法について検討を行います。</u> ※ご指摘いただいた内容も含め、市民や来訪者にとって利便性の高い公共交通手段・手法の検討を行ってまいりたいと考えています。
男性	子育て	出生率が高いという点は、市政の良い点の象徴であり、もっとアピールしていくべきである。	こども課	反映する	(子育て環境の充実)	(現状と課題) <b>【追記】</b> ●合計特殊出生率が県内でも高いという地域の特長を活かし、多子世帯に対する優遇策等、子育て支援策をさらに強化することにより、子育て世代に選ばれるまちづくりが望まれます。
女性	子育て	子ども3人目から優遇されることが多くあると良い。	こども課	対応済み	保育園・こども園における保育サービスの充実	<u>延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。</u> ※幼稚園・保育園保育料において、第2子・第3子以降の軽減策を実施しています。 また、公設学童クラブにおいても、第2子・第3子以降の軽減策について対応しています。
女性	子育て	子育て支援(24時間保育)。	こども課	一部反映する	保育園・こども園における保育サービスの充実	<u>延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。</u> ※延長保育や土曜・休日保育の充実を図ることとしています。 現状では、24時間保育については、民間の事業所内保育所等で実施されているところです。
男性	子育て	おじいちゃん、おばあちゃんを活用(子育てのお手伝い)する、家族・世代間の交流。	こども課	対応済み	元気な広場運営事業	<u>子育て支援拠点「元気な広場」を運営し、子育て中の親子どうしの交流や高齢者等との世代間交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報提供や相談を通じて、子育てに対する不安解消に努めます。</u> <u>また、各地域での子育て支援拠点として、「出張子育てひろば」の拡充を図ります。</u> <u>さらに、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進します。</u> ※子育て支援拠点「元気な広場」は、既に高齢者による子育ての「お手伝い」の場として、三世代での利用が行われています。 また、「子育て応援講座」の開催により、最新の病気の対応や栄養等に関する知識・情報を提供する場を設けています。
			企画課	対応済み	三世代同居・近居の促進	<u>三世代同居・近居を促進し、子育ての負担軽減と高齢者の孤立防止等を図ります。</u>
男性	子育て	「子育ては自然豊かな館山で」をキャッチフレーズに、子育て世代の環境整備を重点的に行う。 具体的には教育環境の整備、子育て世代の税の軽減出産補助金等、経済的な支援。 自然豊かな環境をアピールし、子どもの成長に不可欠な海や自然、文化等を強調。	こども課	対応済み	子育て支援事業	<u>保護者が必要とする施設や事業等の情報提供や病児・病後児保育事業の実施、公共施設や店舗にオムツ替えや調乳用ポットなどを備えた「赤ちゃんの駅」の拡充等により、子育て支援を行います。</u> ※子どもを産み・育てやすい環境づくりのため、各種子育て支援事業により対応しています。
			こども課	対応済み	保育園・こども園における保育サービスの充実	<u>延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。</u> ※子どものいる若い世代が働きやすい環境づくりのため、幼稚園・保育園における保育サービスを充実することにより対応しています。
			こども課	対応済み	幼児教育の充実	北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。 ※教育環境においても各種施設の整備等により、子育て支援を行っていくこととしています。
			こども課	対応済み	元気な広場運営事業	<u>子育て支援拠点「元気な広場」を運営し、子育て中の親子どうしの交流や高齢者等との世代間交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報提供や相談を通じて、子育てに対する不安解消に努めます。</u> <u>また、各地域での子育て支援拠点として、「出張子育てひろば」の拡充を図ります。</u> <u>さらに、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進します。</u>
			こども課	反映する	子ども医療費給付事業	小学校6年生までの通院医療費及び中学校3年生までの入院医療費の助成を継続し、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健の向上を図ります。 また、中学校3年生までの通院医療費の助成を実施します。
	学校教育		学校教育課	対応済み	特色ある学校づくり	<u>地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。</u>
	生涯学習		中央公民館	対応済み	ふるさと体験活動の推進	<u>子どもたちが、郷土への愛着心や生きる力をはぐむために、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。</u>

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
女性	子育て	合計特殊出生率目標1.8(平成32年)は、20年以上前の数値であり、これを達成するのは非常に厳しい。 相当の施策が必要。	企画課	*****	*****	※合計特殊出生率が、極めて厳しい目標値であることは認識しております。 本数値については、国や県の施策だけでなく、社会情勢や個人の意識等が大きく影響するものと考えます。 しかし、人口減少・少子高齢化に対応していくためには、出生率の上昇は必要不可欠であり、また、当市のH26年度の合計特殊出生率が1.53であることを考慮しますと、目指すべき指標としては適切であると考えます。
男性	高齢者	半島としての弱点や交通アクセスの悪さから工業の立地は不可能だと考えられる。 若者ではなく老人を呼び込んだらどうか。 館山市の温暖な気候や過去の大災害の少なさを活かし、館山市を老人福祉介護市にする。 首都圏では老人介護施設が不足しているとのことであり、館山市に存在する空き家(大型建物)等の再活用、政府補助金のねん出を提案し、新施設の建設を促進する。 事前に首都圏市役所に働きかけ感触を確かめるとともに老人受入契約等を結ぶ。	高齢者福祉課	対応済み	館山市高齢者保健福祉計画の推進	高齢者保健福祉計画に基づき、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施と、 <b>高齢者のニーズに沿った福祉施策を推進します。</b>
			企画課	対応済み	「日本版CCRC」の導入に向けた検討	<b>都市部の高齢者が健康な時から地方に移住し、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送るための地域コミュニティ(「日本版CCRC」)の導入について検討します。</b> ※館山市が有する特性・地域性を活かして、元気な高齢者の方に、館山市に移り住んでいただき、新しい人の流れをつくることは重要なことであると考えています。 また、それらに対応するためには、介護人材の育成が急務です。
			高齢者福祉課	対応済み	介護・福祉人材の確保に向けた支援	<b>これからの超高齢社会に対応し、各介護施設等で不足する介護・福祉人材の確保に向けた支援を行うことにより、高齢者福祉・介護サービスの充実を図ります。</b>
男性	高齢者	(若者ではなく、老人を館山市に呼び込む。これに伴い、)食料の地産地消の働きかけによる農業漁業の発展や、医療関係の利用増大、職場拡大、葬儀関連のさらなる充実が見込める。 働く職場ができれば若者は増え、人口減少も食い止められるのではないかと。	企画課	対応済み	「日本版CCRC」の導入に向けた検討	<b>都市部の高齢者が健康な時から地方に移住し、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送るための地域コミュニティ(「日本版CCRC」)の導入について検討します。</b> ※館山市が有する特性・地域性を活かして、元気な高齢者の方に、館山市に移り住んでいただき、新しい人の流れをつくることは重要なことであると考えています。 また、それらに対応するためには、介護人材の育成が急務です。
			高齢者福祉課	対応済み	介護・福祉人材の確保に向けた支援	<b>これからの超高齢社会に対応し、各介護施設等で不足する介護・福祉人材の確保に向けた支援を行うことにより、高齢者福祉・介護サービスの充実を図ります。</b>
	移住定住		商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	移住・定住促進事業	<b>NPO及び関連機関と連携した移住・定住相談窓口の充実、関連イベントの実施、最新地域情報の提供、空き家バンク制度の利活用など、移住・定住の促進につながる支援策の充実を図ります。</b>
	食		農水産課	対応済み	地産地消の推進	<b>「地域で生産されたものを、その地域で消費する」地産地消を推進し、地域の農水産業と関連産業の活性化を図ります。</b>
男性	高齢者	館山市が都会の姥捨て山であってはならない。 病気療養の地であっても寝たきりや要介護のご老人の最期の地として選択されるのはとても悲しく遺憾である。 できる限り介護ビジネスがないことが望ましく、「各家庭で面倒が見れる家族構成を維持する生活環境の整備」が必要。	高齢者福祉課	対応済み	地域包括ケアシステムの構築	<b>介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療・介護の連携、認知症対策、生活支援サービス、地域ケア会議を推進します。</b>
事業所	高齢者	在宅の要介護高齢者等が、介護者の急病や冠婚葬祭により介護ができなくなった場合や、虐待による一時保護、罹災等の際に備え、行政事業としての緊急ベッド確保の検討をお願いしたい。 かねてより介護支援専門職員から「ショートステイの予約が取りづらい」という声があったが、その都度、介護支援専門職員が市内外の複数の事業所への依頼に奔走している状況が続いている。 これまでも地域包括支援センターや介護支援専門員から問題提起、要望してきたが、介護保険法改正により、ショートステイの空床がない場合、専用の居室以外の静養室での受け入れが可能にはなったものの、問題の解消には至っていない。 「地域包括支援システム」の実現に際しては、「在宅医療・介護の連携」や「認知症施策の推進」、「地域ケア会議の開催・活用」、「生活支援の充実・強化」と並び、「セーフティーネット体制の構築」は行政の責務と考える。 既に多くの自治体で本事業は実施されている。 短期入所サービスの少ない当市においては、有料老人ホームや特定施設入居者生活介護、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護等の介護保険施設以外のベッドを含め活用することで、医療依存度が高い方やBPSDのある認知症の方等、短期入所生活(療養)介護事業所の多くで支援に苦慮する方の受け入れも可能となると思う。	高齢者福祉課	対応済み	地域包括ケアシステムの構築	介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、在宅医療・介護の連携、認知症対策、生活支援サービス、地域ケア会議を推進します。  ※詳細については、計画事業の中で検討していきたいと考えています。
男性	医療	「生死の選択ができるまちづくり」。 長寿がもたらす影響が、若い世代が地方を離れるものになっている。 男性65歳、女性70歳が寿命だった1960年代では、三世同居が普通だった。 高齢でも健康を維持している方と、介護を要する方がおり、この人数差はこれから先も広がっていく。 このままでは、莫大な医療費負担や、一時的な介護産業、高齢者を食い物にしたビジネスが横行するばかりである。 高齢者本人も周りに世話をかけて肩身の狭い思いで長寿と言われ、息苦しい思いをしている事実、また、働き盛りの20代から50代は館山市の人口の4割しかいない事実を踏まえると、半身を寝床と共にしている人や自分自身の認識に乏しい方には、「生死の選択ができる」医療もあってよいと思う。 団塊世代で繁茂の終わりを迎える介護ビジネスと、延命のための医療に区切りをつける節目である。	健康課	反映できない	*****	※高齢化の進展に伴う医療費は今後も増加が見込まれ、医療費や保険料負担の上昇が予想されています。 病院も、すべての患者が入院できる十分なベッド数を確保できるとは限りませんので、将来は在宅医療が非常に重要になってくると思われます。 そのため、本来必要ではない救急受診や、社会的な入院などをいかに抑えていくかも重要と考えています。 館山市では、健康なうちから、「かかりつけ医」を持ってもらい、日頃から医師と一緒に自らの健康に気を付けていただく中で、出来る限り在宅で過ごしていただきたいと考えています。 治療にあたっては、「積極的な治療(延命)などを望まない」といった意思表示は現在もありますが、いただきましたご意見については、人間の尊厳にかかる重要な部分になりますので、貴重なご意見としてお伺いしておきたいと考えています。



性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
女性	学校	「学校教育」や「青少年の健全育成強化」の中で、いじめ対策について入れられないか。	学校教育課	反映する	教育相談体制の充実	子どものさまざまな悩み(学力や人間関係、いじめ等)に対する教育相談体制の充実を図ります。
女性	学校	学力向上の成果指標・目標があると良いのではないか。	学校教育課	反映できない	「生きる力」を育成する教育の推進	※個人の学力向上について、本人に成果を示すことは可能ですが、市全体の成果を数値として設定することは困難であると考えています。
男性	生涯学習	26ページ目 家庭教育事業の推進にある「家庭教育力」とは具体的に何を指すのか。	中央公民館	*****	家庭教育事業の推進	※「家庭教育力」とは、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーなどの基礎を家庭で子どもたちに教える力や能力のことです。 なお、一般的でない用語については、第4次総合計画の計画書の資料編として、解説を付けたいと考えています。
男性	歴史文化	28ページ目 文化の振興として、全国祭礼サミットの開催してはどうか。	生涯学習課	一部反映する	芸術文化活動の充実	「館山市文化祭」、「館山市サークルフェスティバル」など、発表の場を提供し、市民の自主的な芸術文化活動を支援します。 ※行政主体での祭礼サミットの開催は考えておりません。 市民団体の自主的な文化活動を支援します。
男性	スポーツ	31ページ目 スポーツ観光の振興として、伝統と実績のある柔道・剣道を全面に出したまちづくりを進める。	スポーツ課	反映できない	スポーツイベントの開催	※柔道や剣道に限定せず、自然環境や既存施設等を最大限に活かしたあらゆるスポーツでの交流人口の拡大を目指したいと考えます。
女性	スポーツ	「スポーツ観光の振興」では、成果指標・目標にトライアスロンやウォータースイムなどのイベントの参加人数を加えてはどうか。若潮マラソン参加者目標数はもっと多くてもよいのではないか。	スポーツ課	対応済み	【成果指標】 スポーツ観光客数	※競技大会では、安全面、施設規模等に応じて定員を設定していますので、「参加人数=成果指標」とはなりづらいと考えています。 また、成果指標のスポーツ観光客数には、トライアスロンやOWSの参加者だけでなく、剣道大会やオーシャンフェスタ等、他のスポーツイベント(若潮マラソン大会は除く)での参加者、同行者や観客を含めた指標としています。
			スポーツ課	反映できない	【成果指標】 若潮マラソン参加者数	※大会会場・コースともにキャパシティが限界にありますので、今後は、質の高い、持続的な人気ある大会運営に努めていきます。
男性	海	36ページ目 10行目に 平成22年に完成した「館山夕日栈橋」・・・核として、まちづくりを進めるとありますが。まずは、栈橋の費用対効果の検証(当初計画との予実を比較等)、その上で今後の具体的な有効活用方法を明示する。	プロモーションみ など課	対応済み	「館山湾港湾振興ビジョン」の推進	館山夕日栈橋(館山港多目的観光栈橋)の利活用など、「館山港港湾振興ビジョン」に示された7つの戦略を推進するとともに、必要な見直しを行います。
			商工観光課	対応済み	交流拠点「渚の駅」たてやま」機能強化事業	「渚の駅」たてやま」の機能強化と魅力向上により、来館者のさらなる増加を図るとともに、観光情報の拠点として、旬の観光情報を提供し、市内観光の周遊性を高めることで、観光の振興と地域経済の活性化を推進します。 ※「渚の駅」たてやま」の今後の具体的な取組としては、駐車場不足への対応や経年劣化が著しい施設の改修、効率的な施設の管理・運営方法等を考えています。
男性	海	38ページ目 海水浴場事業 まずは死亡事故ゼロを実現する。	商工観光課	対応済み	海水浴場の開設	館山市の重要な観光資源である美しい砂浜・海岸を維持するとともに、海水浴客が安心・安全に利用できる海水浴場を開設します。
			プロモーションみ など課	対応済み	海・浜空間利用者のマナー向上	千葉海上保安部館山分室、千葉県警察館山警察署、千葉県、民間団体等の関係機関と連携し、安心・安全に楽しめる海・浜空間の確保に向けた取組を実施します。 また、海・浜空間利用者のマナー向上を図るため、「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」及び「海・浜ルールブック」の普及・啓発に努めます。
男性	海	62ページ目 海によるまちづくりを進める町として、船による集客は考えないのか。	プロモーションみ など課	対応済み	海路の充実	旅客船の定期航路化・寄港船舶の増加に向けた取組を行うとともに、季節運航の利用客増加に向けた積極的なPRを行います。
男性	海	館山市の収入を増やすことを考えるべき。「海の魅力を生かした観光振興 海岸利活用事業」(商工観光課) 提案：バーベキューイベントの実施 ・市役所と商工会議所の協賛で実施 ・日時：土日祝日 10～15時 ・場所：北条海岸一帯の浜辺と草場 ・対象者：行楽客、市民 ・イベント内容：海鮮・焼肉バーベキュー バーベキュー用具を100セット市が用意する5千円で貸出、返却時に2千円返金 海鮮・肉・野菜・燃料・飲料は商工会議所が業者に依頼する 木更津のイオンモールで実施済みなので参考にしてほしい	商工観光課	反映できない	海岸利活用事業	※ご意見の「バーベキューイベント」は、海・浜空間の利用者のマナー向上を図るため、平成27年度の制定した「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」及び「海・浜ルールブック」の規制項目である「たき火やバーベキュー」に該当するため、大変難しいと考えています。 北条海岸芝生広場などの海浜エリアについては、美と健康・食を提供するサービスペースとして、夏季以外にも海岸や砂浜のにぎわいを創出する事業を実施していきます。
男性	海	「船形漁港・船形地区活性化プロジェクト」(P38)に那古海岸を加え、船形バイパスの整備完成に合わせ、館山市の西の玄関として、漁業、食、海岸スポーツなどの人の集まる拠点を整備する。バイパスの平成32年度に72%進捗では遅すぎる。船形・那古地区の有志を中心とした「改革委員会」を作ってほしい。	プロモーションみ など課	反映できない	「館山湾港湾振興ビジョン」の推進	※港湾ビジョン戦略⑤「船形漁港・船形地区活性化プロジェクト」につながりますが、港湾施設ではありません。 なお、ビジョン見直しの際に那古地区を加えることについて、海岸管理者の千葉県、庁内担当課と検討することは可能であると考えています。
			都市計画課	対応済み	都市計画道路船形館山線(船形バイパス)の整備	富津館山道路富浦インターチェンジ付近の国道127号から、館山湾へ直接アクセスできる船形バイパスの整備を推進します。 ※ 成果指標の進捗率については、船形バイパス整備に関する当初計画に基づくものです。早期の実現に向けて、鋭意努力していきます。
男性	施設整備	丘陵と海が近いことから、空き地を利用し大型キャンプ施設の建設。	商工観光課	反映できない	観光施設管理事業	※館山市においては、民営のキャンプ施設が数施設存在することから、公営施設の建設は予定していません。

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
男性	誘致	大型アウトレットや中型レジャー施設など、外部からの資産および企画を受け入れて、地区の活性化が必要。そのためには、空き地を利用するなど場所の提供が必要と思う。	商工観光課 (雇用定住担当)	一部反映する	企業誘致推進事業	企業誘致のためのトップセールスや市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対する支援を行います。 ※企業誘致を積極的に進める必要性は認識していますが、地元企業と競合する外部資本企業の誘致には慎重にならざるを得ないと考えています。
			管財契約課	*****	*****	※現有する市有地については、企業の需要に応じて提供したいと考えています。
男性	仕事	就業年齢人口を増やさなければ財源も満たされないし、次世代を担う子どもも増えない。高齢者の移住には一定の歯止めをかけるのも一考の余地があるのではないかと。65歳を過ぎたらできる限り働いてほしくない、すなわち、若者の就業先を奪ってほしくないと思う。他市町村からの就業年齢人口の獲得が急務であり、館山市が取り組むべき一番の問題である。	商工観光課 (雇用定住担当)	一部反映する	移住・定住促進事業	※就業年齢人口を増やすべき対策として、雇用の創出・就業支援・企業誘致等のさまざまな取組を推進していきます。 また、若者への就職支援策を講じることはできますが、高齢者の勤労意欲を削ぐような取組を基本計画に位置付けることは難しいものと考えています。 多様な就職選択等への対応により、若者や高齢者のニーズに合致するような雇用対策や就業支援に努めていきたいと考えています。
			商工観光課 (雇用定住担当)		新たな雇用の創出	
			商工観光課 (雇用定住担当)		就業支援の強化	
男性	仕事	若者が夢と希望を持ち、館山で生活してほしい。衣食住の環境は素晴らしいと思うが、これを実現するための仕事が限られてしまっている。企業誘致件数を5年で10社を目標にしているようだが、具体的にはどのような業種の企業を考えているのか。企業が撤退している現状で、進出してくる企業にはどのような優遇策を講じるのか、不明な点が多い。	商工観光課 (雇用定住担当)	*****	企業誘致推進事業	※館山市にふさわしい企業誘致を考えるにあたり、首都圏のニーズを踏まえた館山の魅力要素である「海」を活用したマリレジャー関連産業、飲食業、宿泊業といった観光産業全般、小さなビジネスを実現できる事業者支援、高齢者の増加に対応した医療介護ビジネス等、館山市の強みを活かせる企業を考えています。
女性	仕事	若者が働いて遊べて生活できる館山にしてほしい。	商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	新たな雇用の創出	雇用の需要と供給のバランスを整え、多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、安定した雇用の場の創出に努めます。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	企業誘致推進事業	企業誘致のためのトップセールスや市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対する支援を行います。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	就業支援の強化	ハローワークや近隣市町と協力し、地域の雇用ニーズを捉えた求職セミナーの開催や求人情報の提供等により、求人・求職のマッチング強化を図るとともに、働きやすい環境整備と地域の人材育成について、関連機関・事業者と連携し、検討します。
女性	若者仕事	18歳人口流出の窓口となる高等学校の認識(地元就職、進学)を高める。	企画課	対応済み	市内高校ブランド化支援事業	市内高校のブランド化に向けた高校との意見交換を実施するとともに、高校生の学力向上や地元就職の促進に対する支援を検討します。
女性	仕事	・働く場所の確保 ・企業の誘致 根本は人口の問題につながる。 幅広く問題提起しても実現しないと思う。	商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	新たな雇用の創出	雇用の需要と供給のバランスを整え、多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、安定した雇用の場の創出に努めます。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	就業支援の強化	ハローワークや近隣市町と協力し、地域の雇用ニーズを捉えた求職セミナーの開催や求人情報の提供等により、求人・求職のマッチング強化を図るとともに、働きやすい環境整備と地域の人材育成について、関連機関・事業者と連携し、検討します。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	企業誘致推進事業	企業誘致のためのトップセールスや市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対する支援を行います。
女性	仕事	地元企業への支援(将来の安心につながる雇用体制。例:賃金、社会保障など)。	商工観光課	対応済み	中小企業融資事業	市内金融機関と連携し、中小企業の資金融資が円滑に受けられ、経営の安定化につなげられるよう、市の各種融資制度により支援します。
			商工観光課	対応済み	商工関係団体支援事業	館山商工会議所、館山市商店会連合会、館山たばこ販売組合に対して助成し、団体の団結力・組織力の育成・強化を図り、各団体が地域経済発展の主導的な役割を果たすよう支援します。
			企画課	対応済み	半島振興法による諸制度の利活用検討	半島振興法の改正を注視し、活用可能な助成制度の調査研究を行うとともに、民間企業等への制度周知による積極的な活用を推進します。
女性	仕事	住民の認識を高める(中央就職から地元就職へ)。	企画課	対応済み	市内高校ブランド化支援事業	市内高校のブランド化に向けた高校との意見交換を実施するとともに、高校生の学力向上や地元就職の促進に対する支援を検討します。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	新たな雇用の創出	雇用の需要と供給のバランスを整え、多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、安定した雇用の場の創出に努めます。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	就業支援の強化	ハローワークや近隣市町と協力し、地域の雇用ニーズを捉えた求職セミナーの開催や求人情報の提供等により、求人・求職のマッチング強化を図るとともに、働きやすい環境整備と地域の人材育成について、関連機関・事業者と連携し、検討します。
男性	仕事	「若者の希望にこたえる雇用環境の創出」企業訪問(トップセールス件数):目標累計100件 企業誘致件数:目標累計10件 計画を立てるだけでなく、南房総市が既に4~5件誘致しているため、どのような方法で誘致したのか、ノウハウを教えてください。 結果がすべてである。	商工観光課 (雇用定住担当)	一部反映する	企業誘致推進事業	企業誘致のためのトップセールスや市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対する支援を行います。 ※企業誘致の必要性は認識しています。 他の自治体の状況も把握しながら、「館山ならではの」企業誘致に努めます。

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
女性	仕事	若い世代の地元離れを防ぎ、移住者を増やすには、雇用と子育て支援は必須。	商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	新たな雇用の創出	雇用の需要と供給のバランスを整え、多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、安定した雇用の場の創出に努めます。
			商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	就業支援の強化	ハローワークや近隣市町と協力し、地域の雇用ニーズを捉えた求職セミナーの開催や求人情報の提供等により、求人・求職のマッチング強化を図るとともに、働きやすい環境整備と地域の人材育成について、関連機関・事業者と連携し、検討します。
	こども課		対応済み	子育て支援事業	保護者が必要とする施設や事業等の情報提供や病児・病後児保育事業の実施、公共施設や店舗にオムツ替えや調乳用ポットなどを備えた「赤ちゃんの駅」の拡充等により、子育て支援を行います。 ※子どもを産み・育てやすい環境づくりのため、各種子育て支援事業により対応しています。	
	こども課		対応済み	保育園・こども園における保育サービスの充実	延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。 ※子どものいる若い世代が働きやすい環境づくりのため、幼稚園・保育園における保育サービスを充実することにより対応しています。	
	子育て		こども課	対応済み	元気な広場運営事業	子育て支援拠点「元気な広場」を運営し、子育て中の親子どうしの交流や高齢者等との世代間交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報提供や相談を通じて、子育てに対する不安解消に努めます。 また、各地域での子育て支援拠点として、「出張子育てひろば」の拡充を図ります。 さらに、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進します。
女性	農業	農家や漁業従事者の次世代育成、起業支援	農水産課	対応済み	新たな農業の担い手の育成・確保	認定新規就農者の育成・確保、地域おこし協力隊事業による新たな担い手の育成・確保を図るとともに、「人・農地プラン」を推進します。
			農水産課	対応済み	農業の担い手育成・確保と組織的な営農スタイルへの後押し	認定農業者や新規就農者等の育成・確保に加え、企業参入、農業法人化、地域ぐるみなどの組織的な農業経営体の育成・確保を図るとともに、定年リタイア層や都市部からの移住者などの多様な担い手の育成・確保を図ります。
	農水産課		対応済み	水産振興支援事業	水産業の振興と漁業経営の安定化のため、漁業後継者の育成や栽培漁業の実践、水難事故の救済等を行っている各種水産業関連団体を支援します。	
	農水産課		対応済み	漁業経営支援事業	市内5漁業協同組合の合併促進や新規漁業就業者の増加に向けた取組、漁業施設の近代化・省力化や共済制度への補助等による漁業者への経営安定化支援を行います。	
	商工観光課		対応済み	創業促進支援事業	ワンストップ相談窓口の設置、創業支援セミナーの開催、起業支援補助金や融資制度などによる支援を行い、創業者数の向上を目指します。	
男性	商工業	館山銀座通りがシャッター通りとなってしまっている。 思い切った商業の再構築が必要ではないか。 駅中商店街は、他の中核駅ではどこでもあるのに、なぜ館山だけができないのか理解できない。 あるいは、駅近の商業ビルを建て、診療所や介護施設、保育園一定数の住人（マンション）を募り、駅の近くに新たな人の流れを作るために、行政が音頭を取れないか。 昔と違って商店の力はない。	商工観光課	反映できない	地域商業活性化支援事業（中心市街地の活性化）	※魅力ある商店・商店街づくりやにぎわいのあるまちづくりの形成を目指しますが、駅中・駅近のまちづくりは事業者の意向を考えると行政主導では難しいものと考えています。
男性	移住定住	移住者を積極的に応援する体制づくり。	商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	移住・定住促進事業	NPO及び関連機関と連携した移住・定住相談窓口の充実、関連イベントの実施、最新地域情報の提供、空き家バンク制度の活用など、移住・定住の促進につながる支援策の充実を図ります。



性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
男性	移住定住	「二地域居住者の増加に向けた取組」(P49)、「日本版CCRC」の導入に向けた検討」(P8)も含めた「館山市未来像」の実験・実践。 移住・定住のための具体的施策は計画書にあるが、ともすると市側の発想に偏ってしまうのではないかと。 「東京・横浜に近隣している立地で、どんな機能や役割を秘めているのか」という発想をしてほしい。 そういう立場のプロジェクトとして、元NHKプロデューサーや日本マナー総研、その他有志による「房総健康半島・地方創生活動に連動した南房総あつたか館山」が非営利活動としてスタートしている。 移住者を送り出す都内23区や、受入側となる県内各市(匝瑳市、いすみ市、東金市、勝浦市などに持ちかけ)で、真剣に協議を進めたい自治体がある。 私はこの構想に共鳴し、協力者の立場にあるが、「館山市こそ最もふさわしい環境にある」と考えている者である。 幾多の障害、困難はあると思うが、市内だけで完結するプロジェクトでは結局木更津に吸い取られ、鴨川、南房総市と争うだけ(コップの中の斗い)に過ぎない。 ふるさと館山市の地理的意味、価値は眠ったままである。 余力を持った都会の40~60代の人々に移住してもらい、いわゆる健康寿命を延ばし、米アリゾナ州サンシティの日本版を館山に作りましょう。	商工観光課 (雇用定住担当)	対応済み	移住・定住促進事業	<b>NPO及び関連機関と連携した移住・定住相談窓口の充実、関連イベントの実施、最新地域情報の提供、空き家バンク制度の活用など、移住・定住の促進につながる支援策の充実を図ります。</b>  ※都心との時間的距離も短縮されたことから、移住・定住に加え、「二地域居住」も推進していきます。
	高齢者		企画課	対応済み	「日本版CCRC」の導入に向けた検討	<b>都市部の高齢者が健康な時から地方に移住し、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送るための地域コミュニティ(「日本版CCRC」)の導入について検討します。</b>  ※館山市が有する特性・地域性を活かして、元気な高齢者の方に、館山市に移り住んでいただき、新しい人の流れをつくることは重要なことであると考えており、前期基本計画の中で検討していきます。 また、検討にあたっては、産官学金労言等の多様な意見を取り入れていきたいと考えています。
男性	交流拠点	「交流拠点施設を核とした地域活性化」 提案：“渚の駅たてやま”の入館料を有料にする。 ・来館者数：現在14.8万人 目標40万人 ・入館料：100~200円/人 ・収入見込み：100円の場合 1,480万円(14.8万人) 4,000万円(40万人) ・有料化の理由：受付職員の人件費、ロボットのメンテナンス費、トイレの使用、水道料金、建物のメンテナンス費用等に充当。 人が来ている時にお金を取らずいつとのか。いずれ誰も来なくなる。今がチャンス。	商工観光課	反映できない	交流拠点「渚の駅」たてやま」機能強化事業	※「渚の駅」たてやまは、海辺のにぎわい空間の創出のため、情報・交流拠点となる施設として整備しました。 現時点では、知名度を向上させて、来館者の増加を図るとともに、観光情報を提供することで、市内の周遊性を高め、観光振興及び地域経済の活性化を図っていきたく考えているため、今までと同じく入館料は無料で対応していきたいと考えています。
男性	都市計画	北条安布理線、八幡北条線等は、都市計画道路整備計画線に含まれていない。 この2線は館山市街を二分する幹線道路で、第4次計画期間内に完成する見込みがなくとも、都市計画道路線として生きて存在する以上は、現在までセットバック等、法に基づく協力を行った建築主や、今後、法による規制を受ける沿線地権者に誤解を与えない意味も含めて、計画に含めることが必要と思う。	都市計画課	反映できない	*****	※都市計画道路の整備については、前期基本計画期間内に整備を推進する路線及び事業化に向け整備計画に取り組む路線を計画事業として反映しています。 従って、事業化の見込みがたっていない両路線につきましては、計画事業への位置付けはしていません。
男性	景観	『海の魅力を最大限に活かした「しごと」の創出』と、地域の活性化を図るとともに『海の安全・安心を守り「海」の魅力をさらに高めていきます』とうたわれているが、具体的な施策は見えてこない。 館山において海といった場合、市民にとって最初に頭に浮かぶのは北条海岸、鏡ヶ浦ではないか。 海岸道路の海側の整備は終わったが、反対側は歩道が用意されたものの私有地が多く、整備は終わっていない。 沿道地権者の同意を得て、指導要綱ではなく、景観条例の設定を急ぐべきだ(整備区間は、館山大橋から渚の駅まで)。	都市計画課	対応済み	景観計画の策定	<b>自然景観や歴史的・文化的景観などの視点も加えた良好な景観の形成を目指し、景観計画の策定と景観条例の制定を行います。</b>  ※景観計画策定の中で検討していきます。
	海		プロモーションなど課	反映できない	「館山湾港湾振興ビジョン」の推進	※「館山湾港湾振興ビジョン」の推進により、館山夕日桟橋、“渚の駅”たてやま、ビーチ利用計画(北条海岸)などの利活用による交流人口の増加を目指していますが、周辺地区の再開発までは計画していません。 北条地区の海岸通りについては、民間企業によるカフェやレストラン施設が営業を開始しており、営業ベースでの民間企業の参入を期待するものです。
男性	共同	市民に対して、「館山市に住む以上、遵守すべき事項に対し履行する義務と、居住する権利」を明確に打ち出し、館山市自体の価値(資産価値を含め)を上げることや、「自然を残しつつ、まちなみを整備すること」を総合計画の背骨にしようか。	社会安全課	対応済み	市民と行政による協働事業の充実	<b>まちづくりの担い手である市民団体やNPO等との連携を強化するとともに、各団体相互の交流を図り、市民協働の取組を推進します。</b> <b>また、市民・行政両者に対する協働意識の向上を図り、「市民との協働を推進する条例」の制定に向けた検討を行います。</b>
	景観		都市計画課	対応済み	景観計画の策定	<b>自然景観や歴史的・文化的景観などの視点も加えた良好な景観の形成を目指し、景観計画の策定と景観条例の制定を行います。</b>
男性	道路	平砂浦の防砂林は枯れて衰れた姿だが、それを活かして「第二フラワーライン」と名付け、海岸線ギリギリの道路を建設してはどうか。 既存フラワーラインと合わせて片側通行同士とし、一番景観の良い場所(往路・復路の間(造成中の防砂林のあたり)にパーキングを造ってはどうか。	建設課	反映できない	道路改良事業	※危険箇所(防砂林)の改良等、優先して実施すべきものを計画事業としているため、ご提案について計画事業としての位置付けは考えておりません。

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
男性	都市計画	消滅可能性都市にリストアップされた館山市は、市勢が順調に伸びた時代から停滞期に入り、従来型の施策では、この存亡の時代を生き残れない。 政策は行政の立場から総花的になるのはやむを得ないが、際立って重点的・戦略的であることが不可欠である。 ①都市計画道路「船形・館山線」の早期完成(P59) ②富浦インターと直結している127号バイパス「館富トンネルを含めた前後区間の片側2車線化」の早期完成 ③127号バイパス・那古～南総文化ホール間に、びわ倶楽部に匹敵する高速バスターミナル(駐車場付)を設置・稼働させる(P51関連)。	都市計画課	対応済み	国道・県道の整備促進	<b>国道・県道の各道路整備事業の未整備区間の整備促進について、要望活動等を行います。</b> ※国道127号の富浦インターチェンジ出入口から館富トンネルを含めた約1キロメートルの区間の整備要望を行います。
			都市計画課	対応済み	都市計画道路船形館山線(船形バイパス)の整備	<b>富津館山道路富浦インターチェンジ付近の国道127号から、館山湾へ直接アクセスできる船形バイパスの整備を推進します。</b>
	交通	これらにより、館山市域内の海と陸の回遊性を抜本的に高める。 「交流拠点施設を核とした活性化」に、関連施設整備を含めた高速バスターミナルのインパクト化は計り知れない。	企画課	一部反映する	高速バスネットワークの整備促進	<b>通勤・通学者にとって利用しやすい高速バス定期券の検討、成田空港や東京ディズニーリゾート、大型商業施設などと結ぶ、新たな高速バス路線の整備拡充について、交通事業者に働きかけます。</b> ※交流拠点施設への集客力を高めるためにも、市民や来訪者にとって交通便利性の高い公共交通施策を検討・実施していきたいと考えています。
男性	農業	43ページ目 農業基盤の整備とあるが、館山市としての独自色が感じられない。(農林水産省のホームページ上にある内容とほぼ同一)	農水産課	反映できない	環境と調和した農業の推進	※農業基盤の整備は、国の施策等に基づき、着実に実施していく事業であり、市の独自性を出すことは難しいと考えますが、農産物のブランド化や地元農産物を活用した「食のまちづくり」等の推進により、館山市独自の魅力を発揮していきたいと考えています。
			農水産課		畜産振興支援事業	
			農水産課		有害鳥獣対策事業	
			農水産課		農業生産基盤の整備	
			農水産課		農地の保全と有効活用	
			農水産課		農業経営安定対策の推進	
			農水産課		中山間地域の活力維持	
			農水産課	反映できない	*****	
男性	河川	60ページ目 「2級河川の整備促進」に早期整備とありますが、具体的期日の明記が必要ではないか。 (災害はいつ発生するかわからない)	建設課	反映できない	2級河川の整備促進	※千葉県が実施する河川整備事業に対し、早期完了を願い要望活動を展開するものであるため、期日の明記まではできないと考えています。
男性	交通	62ページ目 高速バス輸送人員の目標値をH32に86万人(3万人増)としているが、40ページ目の観光入込客数をH32に200万人(37万人増)にしている。これは、マイカーでの観光客増を予定している事か。	企画課	*****	高速バスネットワークの整備促進	※鉄道利用者が減少しているのに対し、高速バスは、高速道路網の充実やアクアライン割引制度等もあり、利便性の向上により、利用者が増加しています。 しかし、公共交通よりもマイカーによる観光客が多いのが実情です。 過度なマイカー依存から公共交通への転換を図るためにも、高速バスネットワークの促進や鉄道の利用促進に向けた各種方策について引き続き検討・実施していきたいと考えています。
男性	環境	69ページ目 館山市の人口一人あたりのゴミ排出量は県内上位、理由を明示したうえで対策を明示してほしい。	環境課	反映する	(資源循環型社会の構築)	(現状と課題) 【変更前】 「館山市の人口一人あたりのごみ排出量は県内でも上位となっています。」 【変更後】 「館山市の人口一人あたりのごみ排出量は、事業所から排出されるごみの量が多いこと、海岸漂着ごみが多いことから、県内でも上位となっています。」
女性	防災	海の魅力のメリットだけではなく、デメリット面、例えば津波災害等の避難所、特に沿岸地域の避難経路の整備などの対策、北条海岸付近なども高い場所があまりなくて不安。 海の近くだからこそその安全面の強化も移住定住の促進につながるのではないか。	社会安全課	対応済み	津波防災まちづくり事業	<b>南海トラフ地震や元禄地震などの最大規模の津波を想定した津波避難計画を策定し、必要に応じた避難誘導標識の設置や避難施設の整備を検討します。</b> また、館山市の海岸における防護、利用及び環境を考慮した津波・高潮対策についての協議を進め、千葉県が実施する津波対策(護岸整備)事業に対する働きかけを行います。
男性	防災	73ページ目 「備蓄食料」はアルファ米のみか。その他の食糧の備蓄も必要なのではないか。	社会安全課	対応済み	災害対応力強化事業	<b>災害発生時に備え、『地域防災計画』を見直し、備蓄食糧や各種資機材の整備拡充を図るとともに、災害時の応援協定の充実により、災害対応力の強化に取り組ま</b> <b>す。</b> また、避難生活における良好な生活環境を確保するため、避難所運営マニュアルを策定します。 さらに、災害時の行政機能低下時でも市民生活を維持するため、業務継続計画を策定します。  ※食糧備蓄については、アルファ米のみならず、多様な備蓄に努めています。 あくまで、例示的に「アルファ米」を成果指標としてお示ししているところです。

性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
男性	防災	74ページ目 災害に強いまちを実現する。	社会安全課	対応済み	災害対応力強化事業	災害発生時に備え、地域防災計画を見直し、備蓄食糧や各種資機材を整備拡充するとともに、災害時の応援協定の充実により、災害対応力の強化に取り組みます。 また、避難生活における良好な生活環境を確保するため、避難所運営マニュアルを策定します。 さらに、災害時の行政機能低下時でも市民生活を維持するため、業務継続計画を策定します。
			社会安全課	対応済み	津波防災まちづくり事業	南海トラフ地震や元禄地震などの最大規模の津波を想定した津波避難計画を策定し、必要に応じた避難誘導標識の設置や避難施設の整備を検討します。 また、館山市の海岸における防護、利用及び環境を考慮した津波・高潮対策についての協議を進め、千葉県が実施する津波対策(護岸整備)事業に対する働きかけを行います。
男性	防災	83ページ目 地域コミュニティとして、防災コミュニティの確立が必要ではないか。	社会安全課	対応済み	地域防災力強化事業	防災訓練や防災講座、各種広報活動を通じ、防災知識の普及及び防災意識の向上を図り、自主防災組織の機能強化に取り組みます。
男性	ニーズ調査	「館山市に求めること」をテーマに、世代ごとにマーケティングを行い、特に首都圏に居住する人たちのニーズやウォンツを掘り調査を定期的実施すべき。	企画課	対応済み	広聴体制の充実	パブリックコメントや、「市長への手紙」、「市民との懇談会」など、市民の声を市政に反映させる既存の仕組みを拡充させながら、世代や組織・団体等に捉われない、幅広い多様な意見を取り入れることができる広聴手法の整備に努めます。 ※今回の計画策定に際し、首都圏住民からのWebアンケートを実施しました。次期5カ年の基本計画策定時においても実施を検討したいと考えています。
			企画課	対応済み	まちづくりモニター制度	新たな施策の実施あるいは検討にあたり、より効率的・効果的な手法・手段が講じられるよう、対象者となる市民等から、直接意見を聞くための仕組みづくりを行います。
男性	国県機関	人口減少を食い止める即効性のある方法として、千葉県の県庁機能の一部を、人と同時に館山市に移動させること、国防の要所である基地をもっと優遇し、別の隊も誘致すること、政府機関を切り出して館山に持つてくる方法を検討してほしい。	企画課	一部反映する	シビックコアの検討	※市の政策実現において、国・県等の各関係機関との連携は必要不可欠です。また、地方創生の実現のため、国は、地方への関連機関の移転を積極的に検討しているところです。 計画事業としての位置付けは考えておりませんが、国・県等との連携を密にするとともに、積極的な情報収集や機会に応じた要望活動等を行っていますので、今後も継続していきます。
			企画課		多様な主体との連携によるコミュニティの活性化	
女性	男女共同	「男女共同参画」の目標数値が審議会女性比率だけではさびしい(現状ほぼ達成している)。 市役所の女性管理職比率、市議会議員の女性比率などを盛り込めないか。	企画課 総務課	一部反映する	男女共同参画社会の実現に向けた取組	男女共同参画推進プランの策定・推進により、男女共同参画意識の普及に努め、性別に係わらない家事・育児・介護等の家庭生活への積極的参加や、市政・地域活動などのまちづくりへの参画を促し、豊かで調和のとれた地域活性化への取組を進めます。 また、市の女性管理職の比率を1割以上とし、女性の視点を活かした市政運営に努めます。 (指標追加)
男性	男女共同	85ページ目 「男女共同参画意識の普及」は審議会等における女性委員割合の目標値が低いのではないかと。関連して、女性議員の割合も高める必要があるのではないかと。				※市政への女性の参画意識を高める取組は重要と考えますが、市議会議員における女性比率を市の取組の成果として掲げることは適切でないと考えます。 また、市の審議会等における女性委員割合の目標値の見直しについては、次期男女共同参画プラン(H30～)の策定の中で検討していきます。
男性	情報発信	32ページ目 外国語表記による情報発信 英語だけではなく、中国語・韓国語を用意する。	企画課	一部反映する	外国語表記による情報発信	市内在住外国人や外国人旅行者等に配慮した看板の設置等、外国語表記による情報発信を行います。 ※2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を見据えた中で、多言語等の必要に応じた整備を進めていきたいと考えています。
男性	歳入確保	市有地をより積極的に活用して、さらに売却を進め、商店街、市政活性化の原資とすることはできないか。	行革財政課	対応済み	行財政改革の推進	『行財政改革方針』等に基づき、歳入確保や歳出削減の取組の着実な実行により、財政の弾力性を高め、健全で自主性の高い行財政運営を図ります。 ※現行の行財政改革方針に「市有財産の積極的な売却により財源確保を図る」こととしています。
			管財契約課	*****	*****	※未利用となっている普通財産については、随時売却を実施しているところです。
女性	職員	若い夫婦が館山市に転入する際の特典はあるのか市の職員に聞いたら、すぐに返事がもらえなかった。 ただ、空き家のリフォーム代についてだけだった。 市の職員ですらそんな感じであり、市長はじめ熱心に人口問題を提議していない。 熱心さや情熱が皆無だなどがっかりした。 このようなことでは若い人たちの館山への希望は・・・。	総務課	*****	時代のニーズに対応できる職員の確保・育成	多様な職員採用方法の検討、人事評価制度の導入、職員研修の充実などにより、時代のニーズに対応できる、視野の広い職員の確保・育成に努めます。 ※市の課題を理解し、臨機応変に対応できる人材育成に努めてまいります。
男性	広域行政	91ページ目 広域行政の推進として、南房総市との効率的な合併を実現する。	企画課	反映する	広域連携の充実	人口減少問題や地方創生など、地域に共通する課題に対し、定住自立圏構想や新たな広域的連携を検討するとともに、将来的な市町村合併についても研究します。 また、関係市町等で構成する各種協議会等を通じ、自治体間の連携を強化し、地域の魅力向上と施策効果の増大を図ります。



性別	項目	意見の概要	担当課 (回答課)	対応	関連計画事業名等	対応事業 修正内容 (※ 対応理由等)
男性	政策評価	第3次計画の結果はどこかで示されているのか。何ができて何ができなかったのか。	企画課	反映する	*****	※本計画の策定にあたり、現行の第3次総合計画の「第3期基本計画」については、政策評価を実施しております。 第4次総合計画の計画書の資料編に、その結果概要を掲載したいと考えています。
女性		第3次総合計画の総括がどのようになされたのか。 反省点や、今回の主な変更点などをわかりやすく示してほしい。	企画課			
男性	計画全般	全体として、市長は、「日本一住みやすいまち」の実現をスローガンにしているが、具体的に、何を、どのように、いつまでに日本一にして住みやすくするのか明示が必要。	企画課	反映できない	*****	※総合計画は、各界各層の代表者等からなる総合計画審議会で議論され、策定されるものです。市民と行政が目指すべき市の将来都市像を共有し、まちづくりの方向性を定める「市の最上位の方針」として位置付けられ、基本構想については、議会の議決により決定されます。 したがって、市長の政治信条や公約については、計画策定において考慮されるべきものではありませんが、それを具体的に明示するものではないと考えます。
男性	計画全般	前期5か年で行うことは、取捨選択すべき項目をはっきり打ち出し、その上で目標を設定し、達成に向けて努力することではないか。やりたいことに節操なく対応していたら財源などすぐに底をついてしまう。 館山市の「強み」、避けては通れない「熟慮」すべきもの、やっつけはいけない「弱み」にしかならないものの「仕訳け」を行うべき。 2年目以降は仕訳けを検証しながら計画に優劣をつけ、県や国との折衝が必要なものは強力で交渉していくべき。 これをもとにPDCAを回していく。	企画課	一部反映する	*****	※前期基本計画における各計画事業は、今後5年間で実施すべきものとして挙げており、重点プランについては、館山の特性や強みを最大限に活かすことで、弱みも克服していくことを趣旨としています。 厳しい財政状況にありますので、ご意見のとおり、多くの「やるべきこと」の中から、重要性や緊急性などによる「優先すべきもの」を判断し、各年度の予算に基づき、執行していくこととなります。 基本計画・総合戦略ともに、総合計画審議会を継続して、進行管理とPDCAサイクルの徹底を図り、効果的な実施に努めていきたいと考えています。
男性	計画全般	全体的に総花的で重点が何かわからない。 キーワードは美しい自然、温暖な気候、山海の豊富な食料、歴史的文化財、豊かな暮らし、のどれなのか。 重点目標を絞り、そこから派生する努力目標を掲げるといった形にしたほうが良い（順番を明確にすることも必要）。	企画課	*****	*****	※前期基本計画の重点プランを、「海」の魅力アップ、「食」の豊かさアップ、「若者」の元気アップ、「ふるさと」への誇りアッププランとし、総合戦略における4つの基本目標と密接に関連付けることで、より実効性を高めるものとしたと考えています。 総合計画は、市の目指すべき将来都市像を描き、そのための具体的な方策を総合的・体系的にまとめ、「市の最上位の方針」として、福祉や産業、都市計画、環境といった各分野について、長期的なまちづくりの方向、施策を網羅的に盛り込む形としています。
女性	計画全般	総花的な各論の前に、全体像としてめざすものが見えにくい。 「総合戦略」との整合性も分かりにくい。 総合計画と総合戦略が二層になっていて、検証がきちんとできるのか疑問。 成果指標についても、基本計画の目標値は平成32年度だが、総合戦略の31年度の目標値と9割方同じ数値になっている。 両者の年度を合わせるか、合わせないなら、もっと違った数値になるのではないか。	企画課	*****	*****	※計画の全体像については、昨年度パブリックコメントを実施しました「基本構想」で記載しているところです。 また、総合計画（前期基本計画）と総合戦略の関連については、前期基本計画の重点プランの中で、お示ししているところですが、計画期間に1年の差があるものの、相互の実効性を高めるためにも、両者を関連付けて、整合を図る形で考えています。 そのため、成果指標についても、なるべく両者をあわせて検証できるように設定しています。 目標値については、ご指摘のとおりではございますが、単年度ごとに細かい数値が予測可能なものについては、計画年度の違いで異なる数値とし、あくまで目指すべき数値として設定している場合については、基本計画・総合戦略ともに同一目標とし、総合戦略期間において、より早期に実現されることを目指すものです。